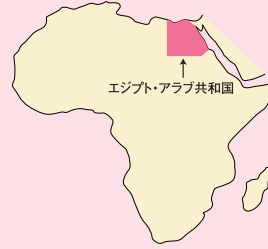


青年海外協力隊は春と秋の年二回、募集期間があります。今回の帰国後談は現在千歳市にお住まいで、そのような募集説明会やJICA国際協力出前講座等でもお話をいただいている石井さんです。

青年海外協力隊 帰国後談

青年海外協力隊OG 石井 優子^{いし い ゆう こ}さん



2年間の任期を終えエジプトから帰国しました。初めての中東アラブ圏、そこで待っていたのは想像を絶する習慣の違いでした。実際の中で生活することは、かなりの精神的な体力を必要とします。自立することが大人になるための第一歩として良いと思われている日本と、結婚してからも親をあてにし頼りにすることが良いとされているエジプト(アラブ圏)では、生活や考え方そのものが違ってきます。そのため、彼らの信じるもの、価値を見出しているものが一体何なのか知ろうとすることから始めました。理解しようとすれば、それだけ自分が苦しくなります。何もかも上手くいかない日々を頭を抱えました。それなら適応すれば良いのだと思えるようになったのは任期も後半に入った頃でした。気持ちを切り替えるだけで、こんなに違ってくとは思いませんでした。そして「向き合いながら上手くつきあっていくこと」を学び、試行錯誤しながら過ごしている過程に大きな意味があることを改めて感じました。エジプトでの大きな収穫でした。

帰国して2ヶ月後、草の根パートナーシップ技術協力でケニアに行ってきました。あんなに「修行」と感じていたエジプトが、懐かしく思うようになりました。日本を出て日本の良さや問題がみえたように、ケニアを通してエジプトの良さや問題がみえてきたのです。こうして、どの国に行っても良さや問題を共有しながら生きていき、置かれた環境に適応しながら過ごしていける人間でありたいと思っています。もちろん、日本のことも視野に入れています。帰国するたび耳にする残念なニュースに心を痛めています。青少年犯

罪や子ども虐待など、ここ数年で子どもを取り巻く環境や社会が大きく変化しています。自分自身その問題と向き合う時がきたと、再度教育について大学で学びなおすことにしました。同時に国際理解教育についても積極的に携わって行きたいと考えています。まずは興味を持つことから、子どもたちに分かりやすい切り口で視野を広げる手助けができればと思います。与える側のように、現場に行くとき吸収するほうが多いということを数回行った出前講座で感じました。どんなときでも、お互いに学びあう喜びを感じながら、これからもたくさんの人々と関わり、様々な刺激を受けて過ごしたいと思います。



幼稚園にて同僚の先生方と
(筆者は左から2番目)



体操をするのを待っている3歳児たち

北海道教育大学(旭川校)で「開発教育・国際理解教育実践セミナー」開催される!

新年早々の1月8日、9日、旭川を会場に、北海道教育大学の公開講座としては初めて「開発教育・国際理解教育実践セミナー」が開催されました。(共催:JICA札幌、旭川市国際交流委員会)

輸入バナナをテーマにした授業で著名な大津和子先生(札幌校国際理解教育課程教授)をお招きし、1日目に『マジカル・バナナ』(ファシリテーター:JICA国際協力推進員 鷲見美由紀)、2日目に『貿易ゲーム』(ファシリテーター:北海道開発教育ネットワーク(D-net)岡田佳子さん)の2種類のワークショップを体験し、これらを授業で実践する際の応用方法や注意点について検討しました。最後は大津先生による国際理解教育のカリキュラムに関する講義があり、実践への意欲が高められました。全道各地から集まった約30名の参加者の高い意識と熱意に支えられ、大変充実した講座となりました。

<参加者の感想>

- ゲーム、ディスカッション、講義と様々な視点で国際理解教育を学ばせていただき、大変有意義でした。今後に関わるような資料も多く、この2日間のことを学校に持ち帰り、自分達の学校にあった実践を行っていきたく思います。
- とてもよい体験とレクチャーだったと思います。実践例の紹介が数多くあり、参考になりました。
- 自分の課題が見つかり、とても有益な講座でした。今後、自分も実践と研究を繰り返していこうと思いました。
- 明日からの教育実践に役立つプログラム、資料、人材の情報等を仕入れることができ、また多くの素敵な人々との輪が広がり、私自身の生活の幅も広がったように感じました。

今回の講座をきっかけに開発教育・国際理解教育の実践が広く展開されることを期待したいと思います。



最初のプログラム、アイスブレイキング。国歌クイズをしながら参加者同士、自己紹介をしていきました。



ワークショップ「マジカル・バナナ」。バナナ生産者と消費者である日本とのつながりを、ディスカッション、クイズ、ロールプレイなどを通して考えました。

「JICA職員」募集説明会

大学・大学院新卒者対象のJICA職員採用説明会を3月19日(土)午後2時からJICA札幌隣のリフレサッポロにて開催します。(所要時間2時間程度)

なお採用への応募にはJICAのホームページを通じたエントリー登録が必要です。採用データ・募集要項情報をJICAのホームページ(<http://www.jica.go.jp/recruit/shokuin/index.html>)でご確認ください。

全学部・全学科を対象に人物重視で、国際協力に関心があり、どんな状況にもめげず、積極的に挑戦していける方々を募集しています。奮っての参加をお待ちしております。

詳細は011-866-8333「JICA職員」採用担当 舘^{だて}まで

JICA札幌 〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL:011-866-8333 www.jica.go.jp/branch/hics

JICA帯広 〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2 TEL:0155-35-1210 www.jica.go.jp/branch/hico